



信州花フェスタ2019

～北アルプスの贈りもの～

国内最大級の花と緑の祭典“信州花フェスタ2019”の開催に向け、市内各所で植栽が行われました。サテライト会場とスポット会場合わせて延べ182人のボランティアの皆さんの協力により全110種約14,000株を植え終わりました。信州の厳しい冬を越え、春には安曇野へ訪れる皆さんを色とりどりの花が迎えてくれるでしょう。

スポット会場

花や緑を楽しめる場所として国道147号バイパスおよび拾ヶ堰じてんしゃひろば西に植栽を行いました。また、JR各駅前に花による装飾や安曇野IC前への草花の修景によるおもてなしを計画しています。



サテライト会場

花フェスタ期間中、市内主要会場としてさまざまなイベントが行われます。三郷文化公園では円形大花壇の整備など、市役所本庁舎周辺ではハンギングバスケットによる緑化を計画しています。



大花壇 設計者の想い

よしやけいこ
ガーデンデザイナー **吉谷桂子さん**

— 三郷文化公園噴水跡に作られた直径約30メートル大花壇の設計者で、ガーデンデザイナーの吉谷桂子さんに話を聞きました。

「初めて現場を見た時は、まだ工事中だったのでイメージが湧かず苦労しました。そんな時、市役所を訪れて目にしたキャラクターの“みずん”がとても可愛くて、みずんの青色が映えるようイメージして設計しました。手前には鮮やかな黄色のチューリップが咲き誇り、ほかにも色彩豊かな草花を約1万本植える計画です。花壇の中に入れる設計にしてあるので、ぜひご家族で訪れてみてください。1万本の花に囲まれたインスタ映えする写真を撮ることができると思います！」



吉谷さん直筆の設計案。右上は東京への電車内で考えたというメモ。



プロフィール
東京都生まれ。商業デザイナー、広告美術ディレクターを経て、1992年渡英。帰国後、7年間の英国滞在経験を活かしたガーデンライフを提案。ガーデンデザイナーとしてテレビや雑誌、ガーデンショーと幅広く活躍。主な作品に、箱根 星の王子さまミュージアム、はままつフラワーパークなど

木や緑を守るためにできること

10/6・7 安曇野環境フェア2018



環境への意識を高めてもらうため「安曇野環境フェア2018」が堀金総合体育館で開かれました。市民・事業者・行政など62団体が出展。また、学生を含む8団体が日ごろの環境保全のための取り組みについて発表しました。森倶楽部21のブースで竹筒万華鏡を作った荒井加織さん(池田町)は「花びらをちぎって万華鏡の中に入れるなど、自然の物を使えるのがいいと思う。色んな体験を満喫した」娘の美音ちゃんは出来上がった万華鏡が「かわいくできた」と話しました。

メイン企画の「積木ワークショップ!」は、前日に建築士会安曇野支部の皆さんが組み上げた巨大な作品を崩すところからスタート。子どもたちが楽しく積木を組み上げるとともに、松枯れのことや「木」の活用、自然を守っていくことについて学びました。積木を中心に会場に一体感が生まれ、環境の大切さを改めて実感するフェアとなりました。



みんなで仮装、おばけだぞ～

10/27 穂高商店街ハロウィンイベント

商店街をもっと知ってもらおうと、今年で4回目となる穂高商店街ハロウィンイベント(商工会穂高地区商業部会主催)が穂高神社周辺で開かれました。当日は親子連れなど約220人が参加。仮装した子どもたちは「トリックオアトリート!」と声を掛けながら店舗を巡り、たくさんのお菓子をもらっていました。穂高神社から穂高駅前までパレードも行われ、普段とは違った商店街の雰囲気を楽しみました。参加した小笠原陽菜さん(7)は「楽しかった、また来年も来たい」と嬉しそうに話してくれました。



2日間で3万9,000人が来場

11/3・4 新そばと食の感謝祭 農林業まつり

第6回信州安曇野新そばと食の感謝祭・農林業まつり(実行委員会主催)が、穂高神社特設会場で開かれました。来場者は香り高い新そばの食べ比べや安曇野やさいスイーツなどを楽しみました。南神苑会場では地元生産者による物産販売などが行われたほか、安曇野産野菜や果物を積んだ「豊穡宝船」が展示され、最終日には船に積まれた野菜や果物が来場者に配布されました。

